

【任期中の取り組みの概要とその成果について】

(京都大学メールマガジン Vol.90 松本総長からのメッセージより)

(1) 教育および学生支援

- ・教養・共通教育の改革のため科目体系の大括り化と順次性の整備および「国際高等教育院」の設置
- ・博士課程リーディング大学院の開始（5件）と新大学院「総合生存学館（思修館）」の設置
- ・学部入試改革として「京大特色入試」（平成28年度より）の導入と「入試改革検討本部」の新設
- ・学生生活支援として1億円の授業料免除枠の設定
- ・「COC (center of community) (「知(地)の拠点整備事業」)」を獲得し、地域連携オープン教育を実施

(2) 研究推進

- ・二人のノーベル賞受賞者を含む多数の国際的な学術賞の受賞者の輩出
- ・外部資金を年間600億円に増加
- ・URA（リサーチ・アドミニストレーター）を全国に先駆けて採用
- ・研究力強化促進事業（4億円×10年を獲得）
- ・ジョンワプログラムによる若手研究者、職員、学生の海外留学促進
- ・白眉プロジェクトの創設と国際級優秀研究者の雇用（累計74名）
- ・名誉教授中心にシニアアカデミーを設立
- ・英国ブリストル大学、チューリッヒ工科大学、台湾大学と大型国際シンポジウムの開催
- ・物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)とiPS細胞研究所(CiRA)の設置

(3) 社会貢献

1) 産官学連携

- ・共同研究件数と共同研究受入額の増加
- ・特許移転による収入全国1位
- ・産官学連携本部と産官学連携センターの統合
- ・国際科学イノベーション拠点とCOI(Center Of Innovation)資金の獲得
- ・企業との共同研究型長期インターンシップの全国組織の牽引

2) 渉外活動

- ・京都大学東京オフィス（品川オフィス）の新設（利用者数は7万名超）
- ・「京都大学鼎会」（本学卒業の財界トップによる総長支援組織）の設立と鼎会より総長支援基金の受け入れ

- ・「京都大学 by AERA ～知の大山脈、京大。」全国の書店で 20,300 部販売
- ・「東京フォーラム」、「東京で学ぶ京大の知」など東京で京都大学を発信
- ・京都大学基金の募集活動をさまざまに展開し、8,397 件 7.6 億円を獲得

3) 附属病院

- ・京大病院は高度先進医療の評価により「臨床研究中核病院」に指定
- ・病院内に「iPS 細胞臨床開発部」の発足
- ・先端医療機器開発臨床研究センターの発足
- ・ブータンへの医療団の派遣

(4) 国際化への対応

- ・「京都大学の国際戦略」～2x by 2020～の策定
- ・ダブルディグリーのガイドラインの策定
- ・ジョイントディグリーの導入
- ・留学先で取得した単位の認定に関する通則改正や運用の申し合わせ
- ・海外サマープログラムへの参加や中長期の留学を可能とする学事暦の作成（予定）

(5) 大学組織および財務

- ・法人評価の結果により、運営費交付金の「プラス配当」の獲得
- ・学際融合教育研究推進センターの設立とユニットの集約
- ・教員組織と教育研究組織を分離する全学の組織見直しに着手
- ・流用定員の解消、「重点施策定員」の整理・統合による「戦略定員」の創設
- ・「再配置定員」の仕組みの策定
- ・外国人教員の雇用加速
- ・終身年俸制教員制度の設置
- ・ICT の効率化と高機能化、ICT 基本戦略の策定
- ・共通事務部体制を根幹とする事務改革に着手
- ・「京都大学重点事業アクションプラン」の策定と実行
- ・戦略的経費としての「全学経費」の確保、「部局運営活性化経費」の新設
- ・学内予算配分方法の抜本的な見直し

(6) 施設整備

- ・吉田国際交流会館、「新吉田寮 A 棟」の新たな建設
- ・「楽友会館」の改修
- ・「学生集会所」の立て替えと、西部構内における代替施設の開設（建設中）
- ・「新吉田寮 B 棟」の建設および「近衛通までの道路の延長」計画の進行
- ・北部グラウンドの人工芝・全天候化

- ・中央・西部・北部の学生食堂・購買施設の耐震改修工事
- ・学内施設の耐震化率の向上（平成 25 年度末に 93%に）
- ・iPS 細胞研究拠点施設、国際人材育成拠点施設の建設など 67 事業（453 億円）
- ・寄附事業による「稲盛財団記念館」、「積貞棟（寄附病棟）」および「杉浦地域医療研究センター」の整備
- ・「おうばくプラザ」、「時計台周辺環境整備」および「思修館」の合宿型研修施設の整備
- ・「全学スペース利用システム」の整理と環境賦課金制度の導入
- ・国際高等教育院棟建設の決定

【残りの任期において、従前の各種計画に加え、以下に着手】

教 育

- ・SGU（スーパーグローバル大学）事業採択へ向けての取組
- ・海外有力大学との連携共同による学位プログラムの実施へ向けての取組

研 究

- ・研究資金の公正な経理
- ・未整理なコンプライアンス、ガバナンス体制の合理的な体制への整理
- ・URA 組織の財政的基盤の確立
- ・世界ランキングを高めるための研究基礎データ蓄積と評価方式の策定や提案

渉外活動

- ・多角的な情報発信、本学のブランド向上事業推進
- ・基金戦略の策定と寄附マインドの醸成

大学組織改革

- ・組織改革の構想の推進と策定、所要の内規の改正
- ・「ミッションの再定義」への対応としての基本構想のまとめ
- ・年俸制導入、教員個人評価制度の基本構想の策定

施設整備

- ・合宿型研修施設（Ⅱ期）の整備
- ・吉田寮、学生集会所等の吉田南構内の再整備